

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424

12月度理事会議事録

新しい会場で恒例餅つき新年会開催 エンターテイメント、食事など基本案を決める

12月の理事会は、12月5日(水)6時30分から、今回は場所をサンマテオ榴木スーパーマーケット2階に移して開かれ、一部サンフランシスコ地域の理事の方々は通勤時に重なりさぞ大変だった事と思います、にも関わらず12名もの理事が参加して開かれました。討議された事項は下記の通りです。

2007年最後の理事会にあたって 2007年の最後の理事会を持つにあたり上野会長から理事の皆様への労いがあり、ジャパングラブとしてこの半年間大きな問題も無く来られた事に感謝し、さらに新しい取り組みに進んでいきたい、そして新しい年が会員の皆様にとって健康で、繁栄の年であります様にとの挨拶がありました。

2008年新年餅つき新年会 (詳細記事1面、2面にあります)
新しい会場として日本町サター通りにある、北加日本文化コミュニティセンター (JCCCNC) を借りて2月3日(日)開催する事に決定。エンターテイメント、食事の内容等を確認、決定する。尚、役割分担やお手伝い等詳細は1月の理事会にて決める。

ジャパングラブ・ホームページとニュースレターについて

始めてから2ヶ月が経ちました、この間ホームページを見た会員もかなりの数になりました、ご意見ご希望等を浦田理事又は事務局迄お寄せください。また、1月号に従来通り郵送ニュースレターの希望の有無を問う調査票が同封されますので、その時は1月30日迄に返送してください。2月号からは希望者のみに郵送される事になります。

インターネット講習会

(より多くの会員にホームページを楽しんでいただく為に)

1月9日(水)午後6時から ジャパンセンター旧近鉄ビル内の「伝統」電話 415-359-9570 にて、受講は無料です。一人でも多くの方がジャパングラブのホームページにアクセスして楽しんでいただく為に浦田理事が講師となって開かれます。

事務局からのお知らせ

緊急連絡網の運用について具体的且つ有効な方法を再検討する事になりました、会員の皆様のご協力をお願いする事があると思いますのでよろしく。

現在の会員数は78名です。

次回の理事会は1月9日(水)インターネット講習会の後引き続き日米会会議室にて開きます



恒例

ジャパングラブ餅つき新年会

新しい会場で新年を祝う



ジャパングラブ恒例の「餅つき新年会」は、明年2月3日(日)サンフランシスコ日本町JCCCNC ビル一階ホールで開催されますが、12月度理事会において当日のエンターテイメントは、現在サンフランシスコ・シンフォニーで活躍されているバイオリン奏者倉形由紀子さんの出演が了承され、ご本人からも快諾を得て正式に決定いたしました。

倉形由紀子さんの経歴は別記(2面)の通りですがジャパングラブ創立時以来のメンバーで、昨年ジャパングラブが主催した「竹下景子トークショー」の伴奏など常々クラブの催し等にご協力いただきプロのピアニストとして活躍されている倉形俊介さんのご夫人です。

尚、由紀子さんのご希望もありご主人の俊介さんにも出演を依頼したところ「スケジュールの都合が付きしだい出しましょう」との前向きな回答を得ております。お二人の共演が決まればプロ奏者カップルによるバイオリンとピアノの素晴らしい演奏が期待され、必見ならぬ必聴のプログラムが登場します。

会員の方はぜひ友人・知人を誘って多くの人に明年の新年会に参加し、餅つきや食事と共に素晴らしいエンターテイナーを楽しんでもらいたいものです。

- 日時:** 2月3日(日) 午前11:00
場所: ジャパントウン 北加日本文化コミュニティセンター (JCCCNC) ビル、1階
 1840 Sutter St. (ブキャナンとウエブスター通りの間)
会費: \$ 15.00 (会員) 12歳以下は無料)
 \$ 20.00 (非会員)
食事: つききたてのお餅(きな粉、あんこ、海苔など)
 毎年評判の粕汁、いなり寿司、キムチその他
エンターテイメント:
 サンフランシスコ・シンフォニー・バイオリン奏者
 倉形由紀子さん
その他: 申込書は1月号のニュースレターに同封されますが
 今から2月3日(日)を新年会の為に予定しておいて
 ください。

お知らせ

ニュースレターについて

10月、11月の二ヶ月間にわたり、新しく開設しましたジャパンクラブ・ホームページ上で毎月のニュースレターを掲載してきました、最近多くの会員の方々がホームページにアクセスされ楽しんでいただいているようです。利点が沢山あり、多くのニュースや情報を早くしかもカラーで見ることが出来ます、そして好きなとき何時でも見る事が出来ます、たとえば日本に帰省されているとき日本でも、旅先でも見る事が出来ます、さらには会員の投稿(写真、エッセイ、川柳など)も出来ます...等々。

10月号のニュースレターでもご説明した通り、印刷されたニュースレターの郵送に代えてインターネット上での閲覧会員を増やしていき、経費と事務処理の軽減に反映させたいと考えております。もちろんインターネットを使用されない会員もおられますので従来通りの印刷されたニュースレターは毎月発行されます。つきましては **今迄通り印刷されたニュースレターを希望される人は1月号に申し込み用紙を同封しますので記入の上事務局迄返送してください、締切を1月30日として2月号から実施したいと思っております。**



Merry Christmas and
Happy New Year

昨年に引き続きテスト運用!
この機会をお見逃しなく
ご自分で実際に試してみ
てください

年末・年始に『全米・カナダ邦人安否確認システム』をテスト運用!

平成19年11月29日

在サンフランシスコ日本国総領事館

外務省は、年末年始に「全米・カナダ邦人安否確認システム」のテスト運用を行います。既にご案内してまいりましたとおり、このシステムは、緊急時のみに稼働するものであり、平常時は利用することはできませんが、緊急事態発生時に備えて、在留邦人、旅行者の方々及びそのご家族等の方に、予めこのシステムの操作に慣れて頂くため、下記のとおり、テスト運用を実施しますので、この機会に是非ご利用下さい。

海外におられる方々は、緊急時の連絡でなくても、日本のご家族への伝言などのために本システムを使って頂いて結構です(実際に役立つ形であれば、安否情報に限りません)。また、日本におられるご家族の方々は、海外におられる方々の音声メッセージの再生を積極的に試してみてください。

なお、ご利用にあたっては、口座番号、クレジットカード番号等に関する音声メッセージの録音や、送金手続きを目的としたシステムの利用は決して行わないで下さい。外務省は、登録された音声メッセージの内容に関する一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

このシステムに対するご意見・感想、ご要望等がありましたら、FAX(415-974-3660)または con-e@cgsj.org までEメールにて寄せ下さい。

倉形 由紀子

東京生まれ。

都立駒場高校音楽科卒業。

1967年より全額奨学生として

南カリフォルニア大学 (USC) にて巨匠

ヤッシャ・ハイフェッツ氏に師事、

後に彼のアシスタントになる。日本

フィルハーモニー、東京交響楽団、

読売日本交響楽団等とソリストとし

て共演。東京、ニューヨーク、アムステル

ダムでリサイタル。数多くの室内楽フェスティバルに参加。

1986年にロスアンゼルス日米劇場にてChamber Music/LA

Festivalを創立、1995年までディレクターをつとめた。1980年

より1993年までUCLA、およびPepperdine Universityで教鞭を

とる。1993年よりサンフランシスコ交響楽団のメンバーになり

現在に至る。



入国管理法一部改正のご案内

日本の法務省は、テロ対策の一環として入国管理法の一部を改正し、10月20日から日本全国の国際線が乗り入れる空港や外国船の入港する港の全てで運用を始めました。

今回の改正では、16歳以上の全ての外国人を対象に入国審査の際、顔写真の撮影と指紋の採取が義務付けられ拒否すると日本への入国が出来なくなります。この措置は元日本国籍者で米国市民権を取得した人にも適用されます。

こうした法律がつくられ実施されているのは米国に次いで世界中で日本が二番目です。

1. テスト運用期間

- (1) テスト運用開始日時 2007年12月24日(月)
午後9時(アメリカ西部時間)(日本時間 午後2時)
- (2) テスト運用終了日時 2008年1月6日(日)
午後9時(アメリカ西部時間)(日本時間 午後2時)
- (録音された音声メッセージは、上記テスト期間終了後、自動的に消去されます。)

2. 利用方法

・次の番号に電話し、音声案内に従って、音声メッセージの録音、又は再生を行ってください。(利用方法の詳細は当館ホームページ特集欄「邦人安否確認システム」をご参照下さい。

http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/archives/PR/pr_07_1129.htm

1-866-903-2674(ANPI) 又は 1-866-904-2674(ANPI) 又は
1-866-905-2674(ANPI) 全米・カナダからは通話料無料、

その他の地域からは、米国までの通話料有料

1-718-313-9150 通話料有料

※2674は米国の電話の番号に振られたアルファベットではANPIと覚えることができます。

なお、米国・カナダ以外から電話をお掛けになる方の通信環境によっては、フリーダイヤル番号(1-866で始まる3つの番号)につながらない場合があります。この場合は、有料通話番号(1-718-313-9150)におかけ下さい。また、日本からは、上記番号の前に国際電話会社接続番号(001、0041、0061など)や、国際電話識別番号(010)等が必要ですので、予めご確認の上、電話をおかけ下さい。